

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス事業所「ぼっくる」				公表日	R8年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	2	指定基準に基づき職員の配置をしている。	基準の基づいてはいるがもう少し職員を増やしても良いと思われる。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		1	4		玄関はバリアフリー化となっているが、室内は角があり注意が必要な場合もある。現在は支障はないが、今後配慮が必要な子の受け入れがあれば、バリアフリー化に努めていきたい。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	1	常に清潔な印象を持たれるよう清掃は心掛けている。飲食関係に特化した卒後を想定した活動内容の調理体験などの活動内容には合っている	余暇を過ごすには狭い環境となっている。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		1	4		クールダウンする場所が無い為、必要に応じて散歩や外出する事で気持ちの切り替えが出来るよう対応をしている状況。場所の確保が必要。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		広く職員に浸透していないため今後は様々な職員が参画出来るように努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		今後も保護者アンケートを実施し、運営の向上に努めていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		会議内以外でも意見を言えるような機会や情報の共有が出来るようミーティングを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	今後実施できるよう努めます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部での研修に積極的に参加をしている。また月に2回内部研修等で支援に必要な研修や事例検討を定期的に行い学ぶ機会を設けています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		職員会議等で活動プログラムの立案を行っています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	子どもや保護者からのニーズや課題に合わせて作成をしています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援計画作成会議を開いている支援計画を作成をしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画をきちんと共有をし、個々の計画に沿った支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	児童の行動の状況などを把握確認できています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		将来につなげていけるように。また本人家族のニーズもくみ取りながら現在必要な具体的な支援内容の設定を行っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員会議等で活動プログラムの立案を行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	月間予定表を作成し、固定化しないようイベントや作業スキル向上のプログラムを設定しています。	物によってはマンネリ化しているものもある。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		アセスメントに基づき各児童に応じた集団、個別活動を計画し作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	支援開始前に申し送りを行い支援内容、役割分担を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		毎日支援の終了後の打ち合わせを行っています。また共有のメールを使用し報連相を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の活動日誌や日計表を用いて日々の支援内容を共有し、支援の検証、改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的な計画書の見直しを務めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		創作活動、自立支援・日常生活充実、地域交流の機会の提供、余暇の提供を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		日々の支援活動の中に自分で選択できるような支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者、児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			学校や関係機関などとは連携が取れていません。医療に関しては関わりが取れていない状況です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校とは密に連絡が取れる状況で情報共有など出ています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			事業所を利用する時には学年が上がっている為、保育所や幼稚園とは連絡取る事がすくない状況。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			法人内の事業所へは情報提供を行っているが、他事業所への情報提供は聞かれなければ提供をしていない為、今後は情報提供できるように努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		必要があれば、助言等を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		今後は検討していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		市内では放課後等デイの協議会がない為
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や必要時に保護者と話す機会を作り、共通理解・情報交換を行っています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		今後は検討していきたいと思います。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時・必要時には説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		契約時・必要時には説明を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		必ず説明、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎時や必要時に保護者と話す機会を作り、共通理解・情報交換・助言を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		年1回の交流会を開催しています。 今後も定期的に開催を予定しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情があった際には迅速に初期対応をしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月会報を発行し、活動の様子を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		気を付けて対応をしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		絵カードや写真を活用するなど、マンツーマンでわかりやすく話をするなどの配慮を心掛けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		コロナが落ち着いてからは地域の方も招待できる行事を検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2		マニュアルの策定はしているが、保護者等に周知はできていないので、今後は周知していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		避難訓練を年2回行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントの際にしっかりと聞き取りをし情報の共有をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		情報提供からの対応は行っています。	保護者からの情報提供のみで、医師からの指示書はもらっていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		避難訓練を年2回行い日々の活動の際にも安全管理を注意して支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	契約時・必要時には説明を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		スタッフ間でのヒヤリハットの共有及び、会議内でヒヤリとした内容などは周知をして気をつけるよう共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		外部研修の他に、年に3回内部研修等虐待防止の研修を定期的に行い学べる機会を設けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		該当となる利用者さんには了解を得て支援計画書に記載しています。		